

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達・放課後等デイサービス MORE 則松校		公表日		年 月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7						
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	6		<ul style="list-style-type: none"> ・職員に休みが出ると負担がかかる人数なので、余裕のある体制が必要。心の余裕にもつながら ・職員の配置が足りていない ・1年以上、人員不足が続いており1日休みが取れていない職員も居る為、改善して欲しい ・入社時から人員不足である ・担当職員が責任を持って支援にあたってくれているが配置が足りていない 			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・教材とお部屋の自由に遊びを選択できる部屋になっており、メリハリ付けて過ごせる空間になっている ・ロッカーの配置に気をつけて傍にカゴ(水痘や弁当)やハンガーラックを設置している 				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・通常時、整理整頓されていてとても良い ・必要に応じて変化する所が良い ・パートの先生を中心に消毒や観戦予防(温度管理や換気)を行うことが出来ている ・活動に合わせて各部屋を使って過ごしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の老朽化のせいか雨濡れが目立つ ・大きなシミや電源コードからの発火があった ・トイレや水回り等施設が老朽化しており安全面で不安がある所や心地よく過ごせない箇所がある 			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個室も上手く利用している ・子ども達自身もそれぞれの部屋の使い方を理解しながら使用している様子がある ・子ども達にとって落ち着ける場所を提供できるよう心がけている 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育室の扉が他事業所に使われている為、現在は個室になっていない 			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1					
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて会議などで周知している 				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の風通しが良く、何でも話せる雰囲気が良い ・必要に応じて会議などで周知している ・面談が定期的に行われている ・戸外活動での様子や保護者からの様子等を共有し支援に繋げている 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議は少ない ・各々が自分の意見を言い雑談の中でのやり取りが多い 			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3					
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・最低月1回行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン等に限定され実施研修はない 			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・事前に職員に配布されている 				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・職員数人で話しているので色々な見解のもと作成している ・保護者のニーズも自然に聞き出している 				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数人で話しているので色々な見解のもと作成している ・保護者のニーズも自然に聞き出している ・職員間で日々の療育の中で話し合いながら行うことが出来ている 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画の情報共有については足りていない 			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画の情報共有については足りていない 			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			・正社員の先生方が中心となって、毎月工夫をしてプログラムが計画されている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			・子どもの状況で臨機応変に対応できる職員が居る ・利用状況にもよるが個に応じた対応をしている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		・担当職員で利用時間の中でどう過ごすかを考え支援に落とし込んでいる
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		・日々の療育の中で話している ・支援後、振り返りを会話の中ですることがあるが意図的に毎回行うことが出来ていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		・記録は取っているが検証、改善には繋がっていない
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			・モニタリングにも職員が入り、リアルな様子を保護者に伝えることが出来ている
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			・保護者の同意を得て病院などに同席させてもらっている
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・併用先や保育園、幼稚園には管理者が定期的に訪問(送迎)し情報共有を図っている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1		・公園等で健常児との関わりを増やしている ・交流は無いが、地域の公園等で一緒に遊ぶ事がある ・戸外活動を通して他者との交流あり
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			・送迎時によく話していると思う ・保護者の悩みや困りごとを聞いて支援に取り入れている	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			・送迎時やお迎え時にお話する機会を設けている
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		・保護者会などは無い
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			・人員の問題もあるので情報共有し最善を尽くせるように支援を考えている
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			・インスタグラムを活用している ・SNSの発信が多く、今の保護者に合ったやり方だと思う ・インスタグラムだけではなく、個人LINEにも個人情報に配慮しながら様子をお届けしている
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			・言葉に遅れのある子どもでも本人の意思表示を大切に聞いている
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・戸外活動で公共施設等に行き地域の方と交流する機会は多い
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			・保護者からの事前情報からクッキングの際には気を付けて行っている ・働きはじめて直ぐに食物アレルギーがある子についての説明を受けなかった。クッキングの日にもっと職員全体で認識しておく必要があると思った。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			・現在、拘束が必要な児童がいない	